

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

皆さんこんにちは。議長より登壇の許可をいただきましたので、15番石橋敏伸の一般質問をさせていただきます。

いよいよ来週は父の日であります。私も日ごろ家庭を省みるほうではありませんが、何をプレゼントしてくれるのかなと思っておりませんが、皆さんも同じじゃないかと思っております。西川登町民の願いに、きょうプレゼントとして、お答えいただくことを願って質問をさせていただきますと思います。

質問については質問席で進めたいと思います。

最初に、道路行政についてのお尋ねであります。趣旨は違いますけれども、県道塩田波佐見線の進捗状況、今後の計画についてのお尋ねであります。

西川登町日出城地区国道34号線より長崎県波佐見町へ抜ける西川登地区の主要な県道であります。矢筈ダム建設当時から計画がされ、20年を経過し、なかなか進捗しない状況の中で、現在、国道交差点部分が完了し、波佐見町を初め、交差する県道嬉野山内線を利用した山内町や伊万里への通勤客、商業等自動車等の通行量が増加しております。路線は西川登町の集落生活道路及び小学生、中学生、高校生の通学道でもあります。特に大型車が離合するときは本当に危険な状態でもあります。地域住民にとっては道路整備の早期完成を望まれておるところであります。

交通量が増加する一方、事業がなかなか進まず、現地は用地交渉が完了した部分の拡幅工事がなされておりますが、歩道が暫定的に設置されており、車道と歩道の間がシートに覆われている箇所もあります。雑草の生えている箇所も多く見られております。早く事業を完成させたいというのが私たちの願いであります。今後の事業はどのようなになっているのかお尋ねをいたしたいと思います。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

塩田波佐見線につきましては、平成9年度から事業を実施しております。延長は1,200メートルなんです。このうち今まで完了した地区としましては、国道の交差点から130メートル、それと、郵便局から弓野橋のところまでの500メートル、この630メートルが完了しているという状況でございます。今年度は川登モータースから郵便局までの間の買収が済んだところの分をやるというふうになっております。あとまだ交差点のところを過ぎて、今、完了区間を過ぎて、あの峠のところですね、あそこの峠のところはまだ若干残るという状況でございます。

以上でございます。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

本年度250メーターですか、工事をやっていただけるということで本当に喜んでおりますが、あと峠のほう、あそこ商売してあるところもありますので、何とかあそこら辺が一番危ない箇所だと思っております。どうかあそこら辺も、こっちの市のほうから県のほうにもお願いしていただきたいと思っておりますが、一日でも早くできることを願っております。

前の質問で路線バスの変更をとということもお尋ねしておりましたが、この道路拡張ができれば、そっちのほうもできるんじゃないかなと思っておりますが、そこら辺をまた一日でも早く工事をしていただきたいなと思っております。地元の私たちも何らかの形で協力はしていかなきゃいかんなど、まちづくりのほうでも思っておりますので、市のほうもよろしくお願ひしたいと思ひます。

あと峠のほうの計画はまだでしょうか。そこら辺をお願ひしたいと思ひます。

議長（杉原豊喜君）

松尾まちづくり部長

松尾まちづくり部長〔登壇〕

峠の区間でございますが、峠の区間にはホテルが2軒あります。そこで営業されておりますので、その営業関係で若干用地買収が今協議中 協議中というか、交渉中というところでまだ成立してありません。

ただ、県としては鋭意努力して交渉していくというふうに聞いております。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

何回も繰り返しますが、一日でも早くよろしく市長のほうからもお願いをしていただきたいなと思っております。

私、2番目の通告であります、市内観光施設の活用についてであります。

平成29年の開通を目指して、20年4月28日に議員一緒になって嬉野みゆき公園での起工式に行ったわけですが、その後、武雄町、東川登町、西川登町の関係16区で説明会が実施された。鉄道運輸機構は、平成20年7月から21年3月にかけての基準点測量がなされ、11月から3月にかけて中心ぐいが打たれてまいりました。いよいよ新幹線の道が見えてきたところではありますが、そこで、新幹線開通に向け、これまで以上に観光客誘致に力を入れていかなくてはならないと思っておりますが、どのようなお考えでしょうか。また、市内には幾つもの観光施設があると思ひますが、これらの施設をどのような活用をしていくか、お考えをお願ひ申し上げます。

議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

樋渡市長〔登壇〕

このごろ、観光でどうすれば自分たちのまちが伸びていくんだらうかということで、私もよく呼ばれる機会があります。そのときにやっぱり武雄の弱点は何ですかと聞いたときに、一番言われるのが、もてなし力が弱いという。武雄じゃ、だれが一番もてなし力のあるですかと聞くぎ、小学生と言うですね。なぜか。あいさつばすっけんです。教育委員会のおかげだと思えます。観光客というのは、来たときにやっぱり「おじさん、こんにちは」とか、ああいうふうに言うことが、この観光地に来てよかったと。僕は、これは大分の湯布院に行ったとき、それは思いました。だから、今度はプロの観光客の方々であるとか、あるいは我々議会、あるいは我々が、ある意味、行政の我々であるとか、やっぱり来たときにきちんとあいさつばすだけでも大分変わると思うわけですね。ですので、それは各旅館の、あるいはお土産屋さんもそうだと思いますけれども、まず、そこから始めるべきだというふうに思います。

あいさつをきちんとすることによって、もてなししていこうとか、それが武雄に来れば、こがんあいさつばしてもらった、元気のよかったばいっていうことでまたリピーターもふえてくると思うんですね。難しか解決策じゃないと思います。そういった意味で、私はそれをぜひですね、多くケーブルワンごらんになられていると思いますので、それをぜひ市民がもてなしをするということで、ぜひ一緒にやっていければいいなと思っております。

そして、観光施設に、ハードの部分については知られておらんわけですね。例えば、この前、私も反省しておりますけれども、NHKのハイビジョンの番組で宇宙科学館が出ましたね。あのときに物すごく大きい天体望遠鏡であるとか、ガリレオの小さな、ガリレオの当時のつくりよったとかというのは、やっぱり聞いてわかっていましたけれども、映像で見たときに、ああとやっぱり思うわけですね。

ですので、一村一品じゃないですけども、例えば、一店一品、各お店とか、そういう施設が、これが自分たちの得意分野だと、売りだということを出していただいて、それを我々がまた宣伝をしていく必要があるだろうというふうに思っています。その上で足りないところは連携をするという流れになっていくと思うんですね。幸いなことに、武雄の場合はドラマ「佐賀のがばいばあちゃん2」が恐らく早ければ来年の正月特番であると思えます。また、多分物すごい盛り上がりがあると思うとですね。それにまたひっかけて観光をPRするというかね。そういうふうの流れをまた形づければいいなというふうに思っておりますので、ぜひ議員の皆さんたちの御理解、御協力をお願いしたいというふうに思っております。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

あいさつですね。小学生とか中学生、本当に朝から私もたまにパトロールで回っていますが、結構あいさつをしてくれます。本当に小学校の生徒さん、中学校の生徒さん、教育が行き届いているなと感心しているところです。よそから来られたお客さんも「あいさつがうまいですね」と、いつも学校とかなんか行けば、校長先生からお話聞いているところがあります。

そこで、市内遊休農地についてのお尋ねであります。

遊休農地はどのくらいあるのでしょうか。また、そのうち西川登町にはどのくらいの遊休農地があるのでしょうか、お尋ねであります。

議長（杉原豊喜君）

前田営業部長

前田営業部長〔登壇〕

お尋ねの遊休農地でございますけれども、市内全体でいきますと、面積的に64.26ヘクタールという数字でございます。その内訳につきましては、田が7.78ヘクタール、それから、畑が最も多くて50.03ヘクタール、これは昔、いわゆるミカン山とか、そういうところだと思います。それから、樹園地が3.45ヘクタール。その他が3.0ということで。それから、西川登町を見ますと、全体で6.25ヘクタール、そのうちに田が1.68、それから、畑が2.13、樹園地が2.44という数字でございます。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

はい、ありがとうございます。西川登町にはゴルフ場やメルヘン村がありますが、特にメルヘン村は親子で気楽に楽しめる施設だと思っております。先日、メルヘン村の社長とお会いする機会がありましたが、メルヘン村でも自分たちでも企画してされたそうですが、いわゆる体験農園を夏休み期間中に40日間されたそうです。思ったほどではなかったそうです。

そこで、武雄市には多くの遊休農地があると思いますが、これと関連づけたことができないのでしょうか。プログラムメニューとして考えられないのでしょうか。また、先ほど3番議員が質問されておられましたが、花とか果樹などの観光農園として利用することができないのでしょうか。市民農園としても考えられると思いますが、いかがでしょうか。

議長（杉原豊喜君）

前田営業部長

前田営業部長〔登壇〕

先ほどの西川登町にありますメルヘン村ですが、今現在、年間で約8万人ぐらいのお客さんが来ていらっしゃるということで、中身的には幼児、小さい幼稚園生とか、そういう子どもさんと親御さんが一緒にということでございます。そういう中で、なかなか年齢問題ござ

いまして、体験農園、なかなか難しい面がございます。しかし、さっき言いましたように、市内に結構遊休農地ありますので、今まで、例えば、レモングラスの栽培地に体験をするとか、そういう取り組みがありますので、そこら辺もう少し広げてできるような体制をつくっていききたいというふうに考えます。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

メルヘン村には従業員を地元雇用で西川登からでもたくさん仕事に勤務されておりますが、ぜひ大いにPRしていただき、雇用が進みますようお願いをいたしたいと思っております。

また、遊休農地は、耕作不利地の中山間地域では今後もふえていく可能性も大いにあると思います。農家の高齢化が進み、労働力不足や農産物価格の下落などで農地の利用率が低下し、遊休地からの荒廃化も心配するところでもあります。あわせてこのような状況を背景に、地域の活力そのものが低下していくことが一番の心配でもあるところでもあります。

都市住民の憩いや、いやしを求める農村回帰の志向が高まっていると思っております。このニーズに対応し、観光施設の周辺などの遊休農地を利用し、体験農園を通し、観光客誘致として活用していただきたいと思っております。

そこで、この2点につきましてもお尋ねをいたします。

議長（杉原豊喜君）

前田営業部長

前田営業部長〔登壇〕

観光関係との連携ですけれども、今までは観光地をただ見るだけというふうなものだったと思いますが、特に今は体験をセットにしたツアーといいますか、そういうのがかなりございます。今現在、レモングラスのにおい袋ですかね、そういうのを、例えば、温泉通りで今袋詰めをして、自分たちでつくったものを持って帰ってもらうと、そういうのを今やっておりますので、とにかくそういう体験とセットとした観光を今から考える必要があると理解をしています。

議長（杉原豊喜君）

15番石橋議員

15番（石橋敏伸君）〔登壇〕

あんまり早過ぎますけれども、私の質問は以上であります。今後とも観光施設のいろいろな体験場とかがつくっていただいて観光客誘致として、お客さんをいっぱい呼んでいただくような施策をお願いして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。